

民報 ゆうばり

木村予定候補、夕張演説会で熱く語る！

夕張問題の解決も日本共産党の躍進で！

日本共産党の「改革のビジョン」に 共感の声広がる！



共産党夕張総合後援会は、はまなす会館に於いて24日、北海道10区選挙区木村けんじ予定候補を迎え共産党夕張演説会を開催しました。

数日前からの雪で足元が滑りやすい悪条件の中、45名の後援会員や市民が集まりました。会場には筆字で黒々と書かれた集会名の横断幕が掲げられ、さらしている。二つ目は生活に脅かす消費税の問題。新聞もテレビも日

税は必要と報道するが、無駄を省き、富裕層と大企業に応分の負担を税5%増税と同じ税収が見込める。三つ目はオーストラリアもTPPも原

頭として勤務し地域の方々に大変お世話になりました」と夕張で過ごした日々を語りました。また、候補になるまでのいきさつを話し「退職したら、共産

批判する自治体がある」と答えたが、国会質問の中で聞いただし、それが事実ではないことをとメッセージが寄せられました。確認済みだ」と大門参

最後に、党の改革ビジョンを4つのポイントにまとめ、「即時原発ゼロの実現」「消費税に頼らない別の道」「オスプレイやTPPのアメリカ言

総選挙の生活脅かす争点を示す
続いてくまがい桂子共産党夕張市委員長・市議が挨拶に立ち「この選挙には国民の生活を脅かすいくつもの争点がある。一番は、命を脅かす放射能の問題。チェルノブイリという経験があるのに、未

情勢の重大さに
決意新たに
さらには木村予定候補は9月、政府交渉に参加し、三者協議で夕張に

夕張問題を、
国の責任取らせる
議員に
この集会には、鈴木直道市長から「本市は厳しい状況にあるが、地域活性化のモデルになるよう更なる努力を」

四つの改革
ビジョン
最後に、党の改革ビジョンを4つのポイントにまとめ、「即時原発ゼロの実現」「消費税に頼らない別の道」「オスプレイやTPPのアメリカ言

参加者からの
感想と決意
・教職員後援会事務局長は「木村予定候補とは、3年前まで職場を共にし、何でも話しあえた。教育と子どもたちのために国会へ送り出したい」と決意を語り



夕張で熱く語る木村候補

夕張市議会で、建設課関連の市内視察



六角形の歩（あゆみ）集会所

11月14日、夕張市議会は、建設課関連の市内視察を行いました。

歩・萌団地

南清水沢の歩（あゆみ）団地は、現在入居中の市営住宅に引き続き、道営住宅も入居募集、来年度に向けて建設中です。

1〜4号棟（14戸）と集会所が10月末で完成、H25年度から5〜9号棟（13戸）を建設します。

萌（めばえ）団地は、H24年度に1・2号棟（12戸）が完成、H25年度に3〜6号棟



建設中の南清水沢 萌（めばえ）団地

（20戸）を建設予定で、これらの住宅は、市の破たん後、市民要望を受けて、（現）くまがい市議ら先頭

に、国や道に対し「高齢者が除雪の心配をしなくてもいい住宅」「平屋で隣近所が声をかけあえる住宅」などと要請してきたことが実現したものです。

屋根は無落雪、各戸の玄関部分は1棟



入居募集中の歩団地

ずつアーケード状に連続したひさしがあるため、除雪の心配がほとんどないことから、市民の皆さんから喜びの声が寄せられています。

また、市営・道営とも、40〜50年前に炭鉱の坑木として植林された市有林のカラマツ材を、住宅材として8〜9割使用しており、さらに、集材材にも使用しているのが特徴

集会所のデザインは、市民公募の結果、市内の中学生が考案した六角形で、石炭をイメージしたものとなっています。明るい光が部屋いっぱいにあふれ、市民活動や子育てサークルなどに活用される予定です。

労働相談

・12月3日（月）～4日（火）
・午前9時～午後5時
*午後5時以降は
(090-2818-5183)
夕張労働組合総連合 (52-2164)

第54回「第九を聴く会」開催迫る！ ～レコード愛好会～

◎日時…12月8日（土）
午後1時30分開場、
開演午後2時
◎会場…清水沢研修センター
2F大会議室

*ベートーヴェンの第九交響曲（合唱付き）DVDコンサートに向けて、レコード愛好会では音楽ファンをご招待しています。

日本共産党准中央委員
道政策委員長

畠山 和也の

「かけある記」

「何としても議席回復へ！」



いよいよ総選挙の公示も目前。この紙面を通じた私からのご支援の訴えも、投票日前は今回が最後です。必ず北海道の衆議院議席の回復へ、お力をお貸しください！

十勝管内の宣伝キャラバンは、日中でも氷点下並みの寒さでした。それでも外で話を聞いてくれる方の、握ってくれる手の温かさ。演説が終わった途端、団地の窓がバツ！と開いて手を振る姿も。自民党員という方まで、関心を持って演説を聞きにきてくださった町もありました。

昨年、私たちのもとへ北電「やらせ」内部告発がありました。「原発で切り込めるのは日本共産党」と、関係者も認めているのだと思いました。

全道でシンポジウム、学習会、共同の集会に独自の宣伝：：政党は数多く増えたけど、T P P 反対を行動で示したのは日本共産党だけだと胸を張りたい。

どの町にも党地方議員がいて、支部や後援会の方がいる。だから生活や商売の大変さがわかるし、消費税増税反対の先頭にも立つてくれた。

命懸けで戦争反対を貫いた歴史を持つからこそ、自民や維新の「憲法改悪」「核兵器容認」にも正面から日本共産党は立ち向かえます。

生まれ故郷の宮城県石巻市をはじめ、いまだ復興と生活・生業の再建が進まない被災地の願いを、私も実現に向けてがんばりたい。定数八の比例選挙は、取れない議席ではありません。いや、必ず取らなければなりません。みなさんの声を届ける、確かな議席なのだから。投票日まで全力をあげます！